

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	17HP2008	事業期間	平成29(2017)年度～ 令和3(2021)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
アジアからの多様な育種学情報発信を 強化する取り組み		一般社団法人 日本育種学会	会長・奥本 裕
学術刊行物の名称			(略称)
Breeding Science			

【令和元(2019)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
○ A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>既にアジアで存在感を発揮している当該学術刊行物のステイタスをさらに上げようという意欲的な取組であり、計画も着実かつ精力的に実行されている。特に、オープンアクセス化に際して重要な、Web画面のHTML化・レスポンス化やCCライセンスの取得などが完了していることは評価できる。論文の質の向上のため、総説論文の招待や英文校閲を行っている点も評価できる。</p> <p>ただし、PubMedへの掲載の遅れもあると思うが、こうした取組がインパクトファクターやダウンロード数の向上には、まだ結びついておらず、今後の発展に期待する。また、科学研究費補助事業終了後の取組について、再検討が望まれる。</p>	